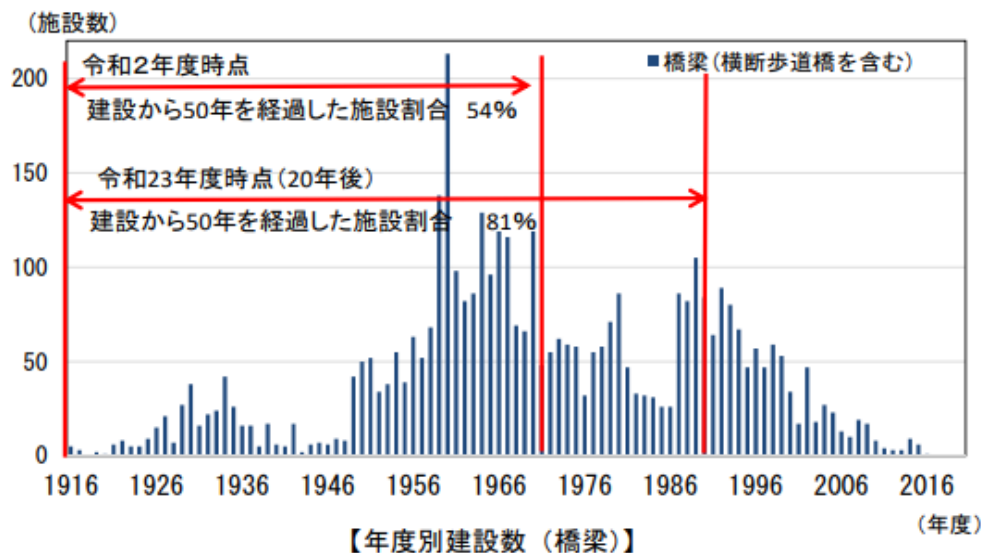


第五話 公共施設等総合管理計画を読む（西日本 17 県）（つづき）

（3）インフラ施設の建設年度

アセットマネジメントを導入するにはインフラ施設の建設年度、建設からの経過年数の情報が必要である。道路分野では橋梁、トンネルの年度別建設数のデータが主に示されている。



広島県年度別橋梁建設数

出典：広島県インフラ老朽化対策の 中長期的な枠組み

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/life/1073102_9385631_misc.pdf

島根県は、砂防ダム、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設についてのデータも示されている。

図3. 7 砂防ダム

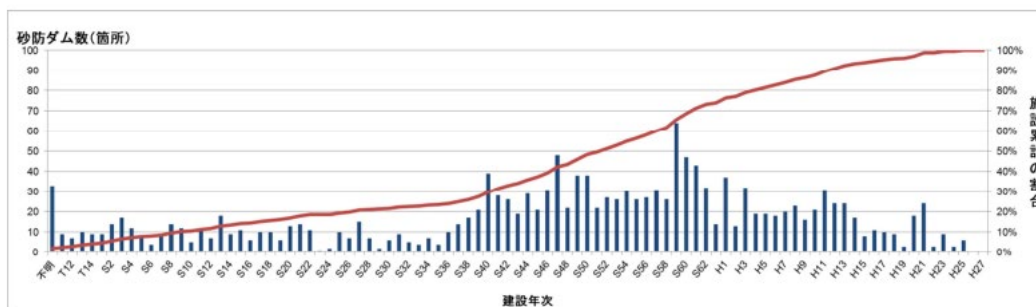




図 3. 8 地すべり防止施設

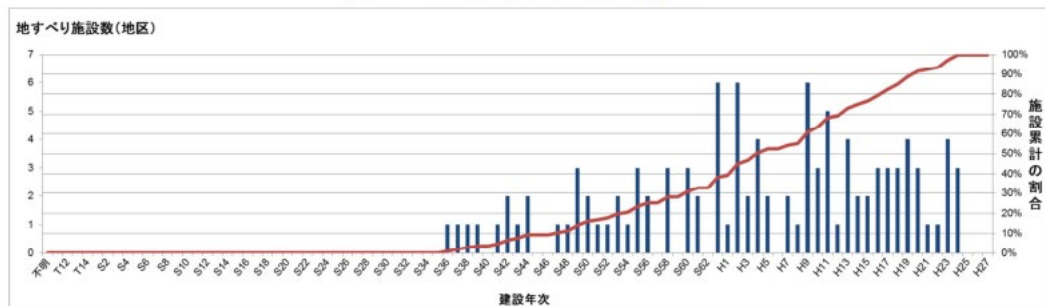
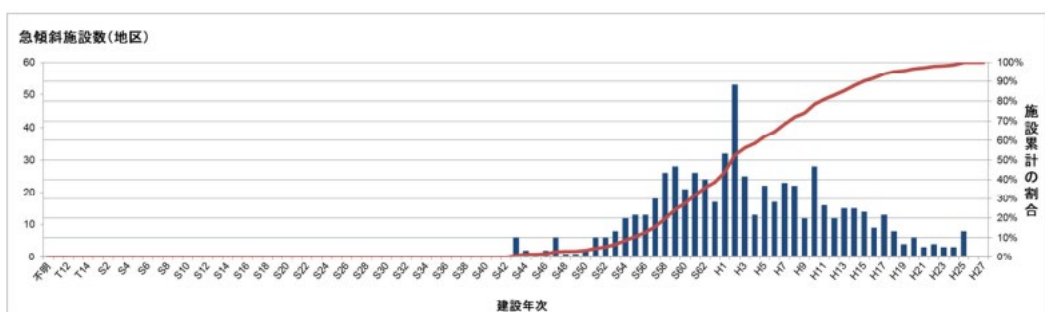


図 3. 9 急傾斜地崩壊防止施設



出典：島根県公共土木施設長寿命化計画

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kouji/kouji_info/rokyuka/index.data/keikaku.pdf

大分県は、経過年数を含め保有する道路のり面・土工構造物に関する詳細なデータを示している。

(1) 現状や課題に関する基本認識

① 対象施設

県が管理する国道、主要地方道、一般県道にある橋梁やトンネル、舗装、道路のり面・土工構造物、道路附属物を対象とし、令和 5 (2023) 年度末現在の保有状況は、以下のとおりとなっている【表 1】。

【表 1】道路施設の保有状況

施設分類	主な施設	単位	数量	
				構成比
橋梁	コンクリート橋など	橋	2,534	—
トンネル		本	261	—
舗装		km	3,141	—
道路のり面・土工構造物	モルタル・コンクリート吹付など	施設	8,877	—
道路附属物	道路照明灯など	施設	9,770	—





【エ 道路施設（道路のり面・土工構造物）】

県が管理する国道や主要地方道、一般県道にある道路のり面・土工構造物を対象とし、令和5（2023）年度末現在の保有状況は、8,877施設となっている【表1－4】。

【表1－4】道路施設（道路のり面・土工構造物）の保有状況

施設分類	主な施設	単位	施設数	
				構成比
モルタル・コンクリート吹付	玖珠山国線など	施設	3,674	41.4%
法枠	別府一の宮線など		732	8.2%
高盛土	国道212号など		595	6.7%
アンカー	弓立上戸次線など		164	1.8%
擁壁	国道442号など		1,088	12.3%
落石防護柵・落石防護網	落合斉藤線など		2,086	23.5%
ロックシェッド	国道212号など		7	0.1%
大型カルバート	三重新殿線など		61	0.7%
溝橋	国道197号など		470	5.3%
計	—		8,877	100.0%

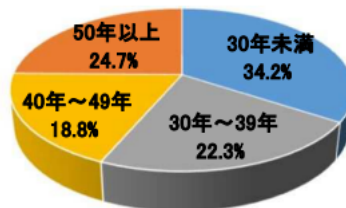
【ウ 道路施設（道路のり面・土工構造物）】

令和5（2023）年度末現在において、既に50年以上経過した道路のり面・土工構造物は全体の24.7%となっており、施設の老朽化の進行が懸念される状況である【表2－3】。

令和22（2040）年度末には、50年以上経過した施設が59.2%を占めることが予測される【表3－3】。

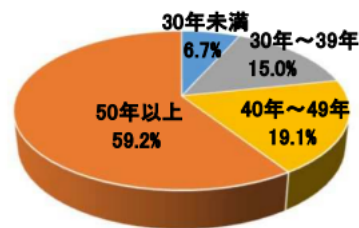
【表2－3】道路施設（道路のり面・土工構造物）の経過年数〔令和5（2023）年度末現在〕

経過年数	単位	施設数	
			構成比
30年未満	施設	3,037	34.2%
30年～39年		1,984	22.3%
40年～49年		1,666	18.8%
50年以上		2,190	24.7%
30年以上			65.8%
40年以上			43.5%



【表3－3】道路施設（道路のり面・土工構造物）の経過年数〔令和22（2040）年度末予測〕

経過年数	単位	施設数	
			構成比
30年未満	施設	591	6.7%
30年～39年		1,333	15.0%
40年～49年		1,700	19.1%
50年以上		5,253	59.2%
30年以上			93.3%
40年以上			78.3%



出典：大分県公共施設等総合管理指針 令和7年度～令和16年度

<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2238987.pdf>

各県で情報開示が多様ではあるが、施設の保有状況、建設年等の情報はデータベース作成の際に活用されうる。

（つづく）



一般社団法人

斜面インフラマネジメント協会

Japan Association of Infrastructure Slope Management



バックナンバー

No.7	<u>2025年9月26日</u>
No.6	<u>2025年9月12日</u>
No.5	<u>2025年8月22日</u>
No.4	<u>2025年8月 8日</u>
No.3	<u>2025年7月25日</u>
No.2	<u>2025年7月 4日</u>
No.1	<u>2025年6月20日</u>

